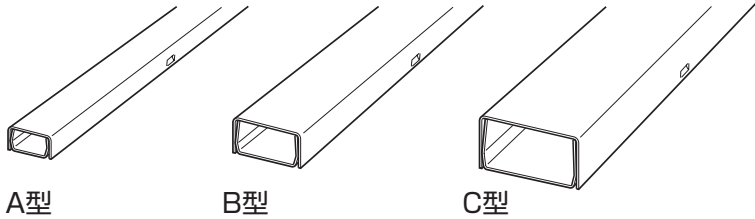


取扱説明書 施工説明書 メタルモール



A型

B型

C型

取扱編

- このたびは、メタルモールをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。この取扱説明書は必ず保管ください。
- ※この商品は乾燥した屋内専用です。他の用途へのご使用はおやめください。
- 屋外および浴室内部など頻りに水分と接するところには使用しないでください。

安全上のご注意

必ずお守りください

安全にご使用いただくために定期点検をおすすめします。

安全にご使用いただくために、お客様自身で点検シートに基づき最低年に1回必ず定期的に点検してください。不具合がありましたら、施工工事店または販売店へご連絡ください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	してはいけない内容です。
注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。	実行しなければならない内容です。
警告	禁止 ●商品の分解・改造は行わない 火災・感電・けがの原因となります。 ●メタルモールを取り外さない 火災・感電・けがの原因となります。	●万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のときは、すぐに使用をやめる(電源を切る)必ず、電気工事店にご相談ください。お客様による修理は、危険ですから、絶対おやめください。
注意	禁止 ●メタルモールには、水や洗剤などをかけない 火災・感電の原因となります。	

使用上のご注意 (お客様へのお願い)

設置環境の悪い場合は点検サイクルを短くし、安全確認をお勧めします。

(海岸沿い、温泉地、工場、トイレや結露しやすい場所など)

(補正方法) 深い傷のある場合はさびをよく取り除き、補修塗料で補修してください。

点検シート

施工日: 年 月 日

点検部位	チェック項目 (目視・感触)	チェック内容	処置方法	点検年月日・点検者・点検結果(有・無を記入)									
				点検日	施工日								
本体	腐食(さび) (鉄板端面の軽微な 腐食を除く)	著しい発生の有・無 (さびによるふくれなど)	交換										
		表面のみ発生の有・無	補修										
	傷	素地に達する程度の有・無	補修										
	変形	著しい変形の有・無	交換										
	緩み・外れ	キャップとベースの緩み・ 外れの有・無	交換										
付属品	腐食(さび) (鉄板端面の軽微な 腐食を除く)	著しい発生の有・無 (さびによるふくれなど)	交換										
		表面のみ発生の有・無	補修										
	傷	素地に達する程度の有・無	補修										
	変形	著しい変形の有・無	交換										
	緩み・外れ	キャップとベース、あるいは 後付部材と本体キャップとの 緩み・外れの有・無	交換										

パナソニック株式会社

パナソニック エコソリューションズSPT株式会社

〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地

TEL (代表) 06-6908-1131

DZA100-T13

DC0808-30712

施工編

※この商品は乾燥した屋内専用です。他の用途へのご使用はおやめください。

屋外および浴室内部など頻繁に水分と接するところには使用しないでください。

■施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。

■施工には電気工事士の資格が必要です。

■A型・B型は、電気設備の技術基準とその解釈(以下電技の解釈という)第161条金属線ぴ工事にに基づき施工してください。

■C型は、電技の解釈第162条金属ダクト工事にに基づき施工してください。

■ケーブル工事を行う際は電技の解釈第164条ケーブル工事にに基づき施工してください。

■施工後、この施工説明書・取扱説明書を必ずお客様にお渡しいただき、使い方を説明してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

 禁止	●メタルモールの改造は行わない (本体の切断、ベース固定用の穴あけは除く) 火災・感電の原因となります。	 必ず守る	●メタルモールの工事では、D種接地工事 またはC種接地工事を施す。 接地工事は省略できる場合があるので、 詳細はアースバーの項目を参照する 守らないと、火災・感電の原因となります。
	●メタルモール内の電線が外部に露出 しないようにする 露出状態で使用すると、火災・感電の原因 となります。		●メタルモールは、規定の電線収納本数を 守って使用する(電技の解釈第161条、 および162条、および内線規定3125-4 および3145-3の範囲内に基づく) 電線が抜けたり、傷ついて、火災・感電の原因 となります。
 必ず守る	●電線と弱電流電線を同時に施工する場合は、 C種接地工事を施し、かつ、電線と弱電流電線 との間に堅ろうな隔壁を設ける (内線規程3102-7に基づく) 守らないと、感電や弱電機器の故障の原因 となります。		

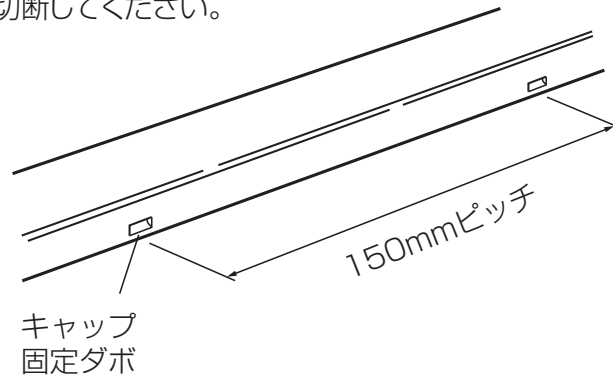
注意

 禁止	●一般屋内商品のため屋外や水のかかる 場所には使用しない 火災・感電の原因となります。	 必ず守る	●本体を切断した後は、ヤスリなどでバリを 取り除く 取り除かないと、手指のけがや、電線が傷つき 火災・感電の原因となります。
	●本体は、仮置き時、不安定な立て掛けを しない 倒れるおそれがあり、危険です。		●天井のメタルモール内に電線を入線する 時は、ケーブルクランプで仮止めする 仮止めしないと、電線が落下し、けがをする おそれがあります。
	●通行の障害になるような床には 取り付けない 人がつまづき、けがをするおそれがあります。		●天井にメタルモール本体を施工する 場合は、必ず本体のキャップ固定ダボを 2か所以上(片側)残す ダボがない状態で取り付けると、キャップが 落下し、けがをするおそれがあります。
	●ボックス内に電線を入れる時は、電線の 被覆を傷つけない 傷つくと、火災・感電の原因となります。		●容易に点検できる乾燥した場所で使用する 火災・感電の原因となります。
 必ず守る	●キャップとベースの間に、手指を挟まれ ないように注意する 注意しないと、けがをするおそれがあります。		●メタルモールは壁・天井に堅固に 取り付ける 落下して、けがの原因となります。
	●本体を切断する場合は、眼鏡などの 防護具を使用する また、回転ノコを使用する場合は、 滑りやすい手袋をしない 守らないと、けがをするおそれがあります。		

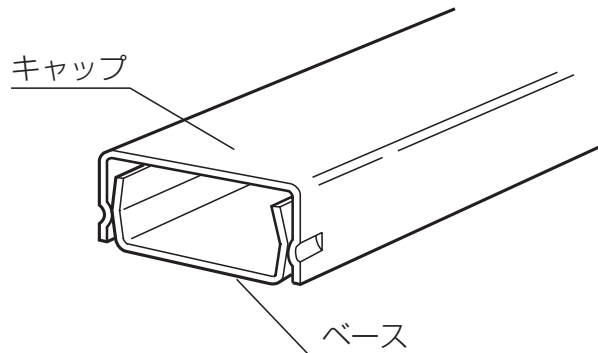
施工前のご注意

①本体を切断し、天井面に施工する場合は、必ず本体のキャップ固定ダボを2か所以上(片側)のこして切断してください。

※壁面に施工する場合は、キャップ固定ダボを1か所以上(片側)のこして切断してください。



②本体・付属品共すべてキャップとベースは、確実にはめ込んでください。

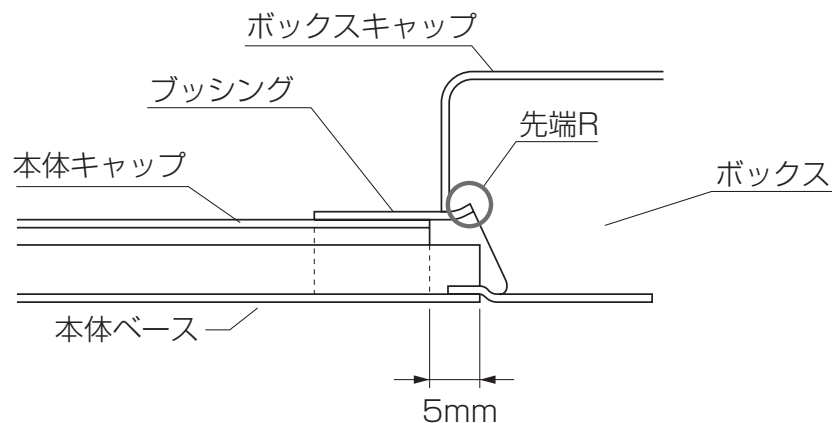


③メタルモールをボックス類(ジャンクションボックス、スイッチボックス、コーナーボックスなど)に接続するか所にはブッシングを使用してください。

その際本体は下図のようにキャップ長さをベースより5mm短く切断してください。

※ブッシングの先端Rが電線を保護し、損傷を防ぎます。

※仮に本体キャップがボックスキャップに達しなくてもブッシングにより連結できます。

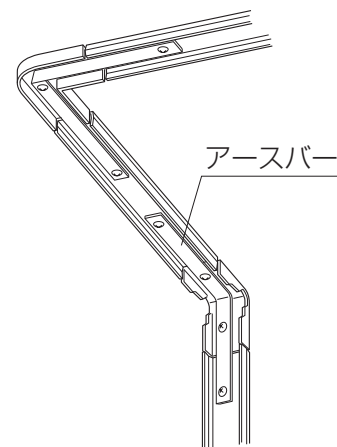


④メタルモールA・B型は、金属線ぴ工事(電技の解釈第161条)、C型は金属ダクト工事(電技の解釈第162条)に基づき施工してください。

⑥メタルモールにはアースバーを用いてD種または、C種接地工事を行ってください。

ただし以下の条件の場合は接地工事を省くことができます。

- 〔1〕A型・B型メタルモールを使用した対地電圧が150V以下の電線工事で、線ぴの長さ(2本以上の線ぴを接続して使用する場合は、その全長をいう。以下同じ。)が8m以下のものを、簡易接触防護措置を施すときまた乾燥した場所に施設する場合。(電技の解釈第161条)
- 〔2〕A型・B型メタルモールを使用した対地電圧が150V以上300V以下の電線工事で、線ぴの長さが4m以下のものを施設する場合。(電技の解釈第161条)
- 〔3〕A型・B型メタルモールを使用した対地電圧が150V以上300V以下のケーブル工事で、線ぴの長さが4m以下のものを施設する場合。(電技の解釈第164条)



⑦弱電線と強電線などの離隔は、下図の施工を実施してください。

■離隔法

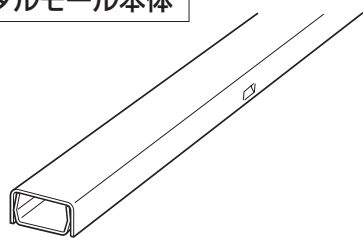
	信号の種類	施工方法
一体型施工法	●電話（アナログ信号） ●テレビビデオ信号（NTSC） ●ケーブル配線工事	＜同一メタルモール内でセパレータを使用＞
分離型施工法	●LAN ●Token-Ring ●ISDN ●線ぴ・ケーブル配線工事	＜強弱で別のメタルモールを使用＞

※この商品をLAN・情報用と強電線を同一ボックス内に設置する場合は、強電線より強いノイズが発生するとその影響でまれに伝送不良が発生することがあります。

※強電線に絶縁電線を使用する場合は、メタルモールおよびスイッチボックスにC種接地工事が必要です。

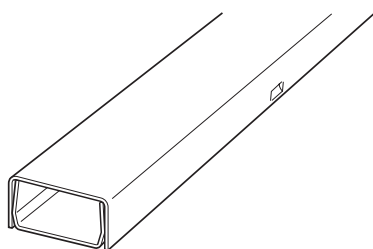
各部の名称

メタルモール本体



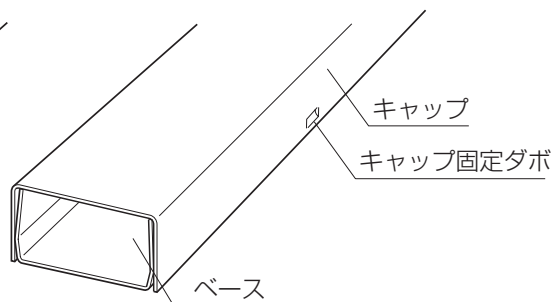
A型

(電気用品の技術基準適合品)
(ケーブルクランプ2コ内蔵)



B型

(電気用品の技術基準適合品)
(ケーブルクランプ2コ内蔵)



C型

(金属ダクト)

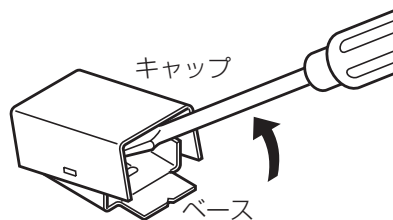
本体・付属品の取り付け手順

1 墨出し

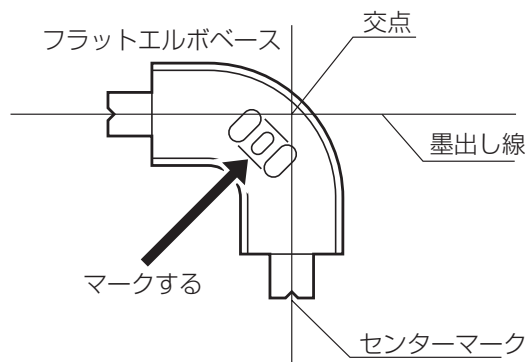
2 天井・壁からの電線引き出し

3 付属品の位置決め

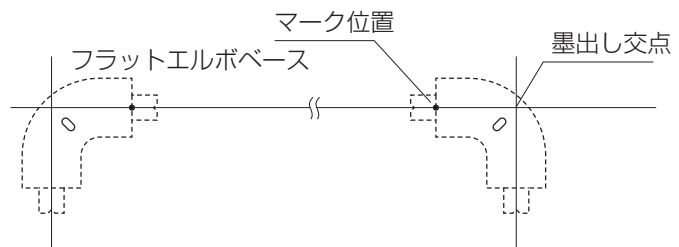
③-1 キャップとベースを外す



③-2 ベースをあてて取付位置をマークする



③-3 本体ベースの取付基準位置をマークする



4 本体の寸法出し

<各付属品間の寸法から、付属品専有長さを差し引く>

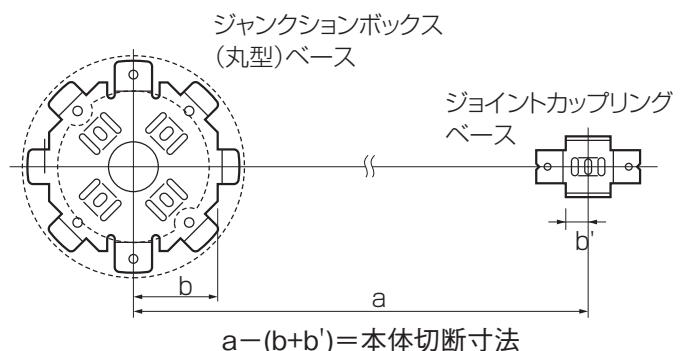
センター基準で計算する場合

※付属品専有長さは各ベースに刻印表示しています。

<対象商品>

- ジョイントカップリング
- ティー
- ジャンクションボックス（丸型）
- ジャンクションボックス（角型）
- コーナーボックス（側面に接続する場合）
- スイッチボックス

(例)

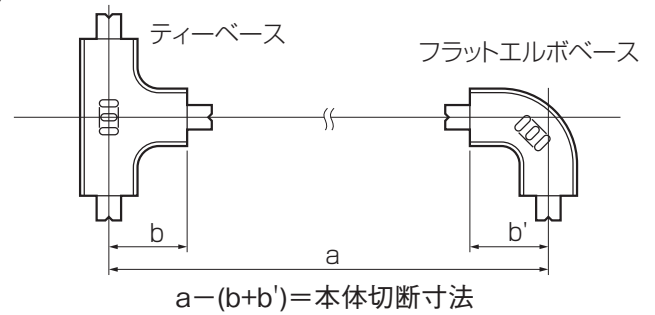


墨出し基準で計算する場合

<対象商品>

- ティー
- フラットエルボ

(例)

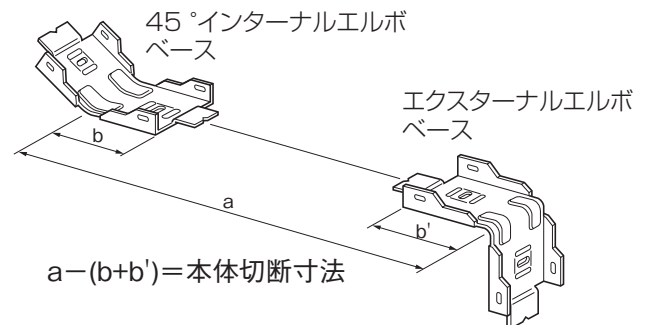


コーナー基準で計算する場合

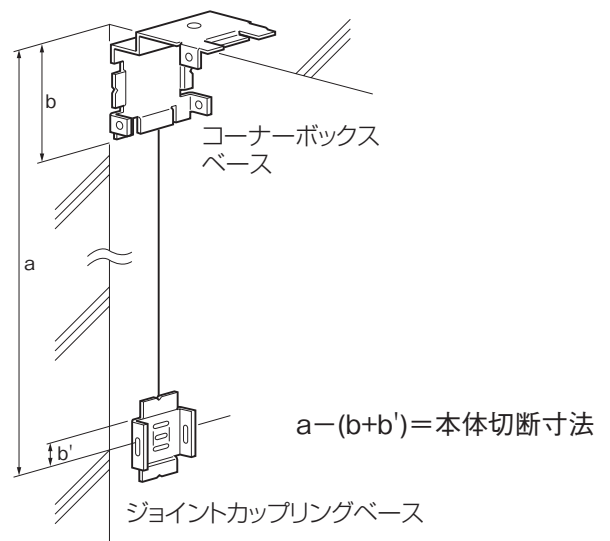
<対象商品>

- コンビネーションコネクタ、コンビネーションアダプタ
- ストレートボックスコネクタ
- コーナーボックス（右図の方向に接続する場合）
- 天井引き出しアダプタ
- インターナルエルボ
- 45° インターナルエルボ
- エクスターナルエルボ

(例)エッジ基準の場合



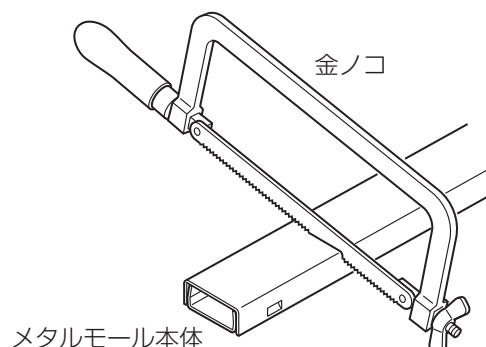
(例)コーナー基準の場合



5 本体の切断

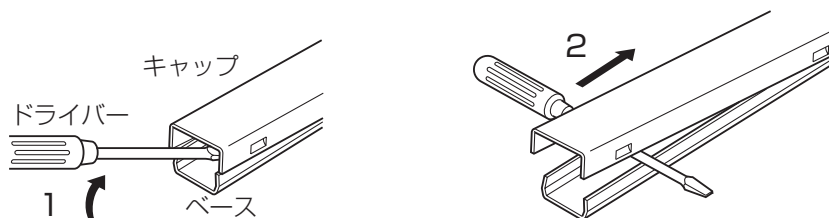
施工上のご注意

- ※1 本体の保護フィルムをつけたままで切断してください。
- ※2 高速カッターをご使用の場合、本体の切断面が高熱で焼けることがありますので、補修を行ってください。
- ※3 バリが発生した場合には取り除いてください。
- ※4 天井面に施工する場合は必ず本体のキャップ固定ダボを片側2か所以上のこして切断してください。

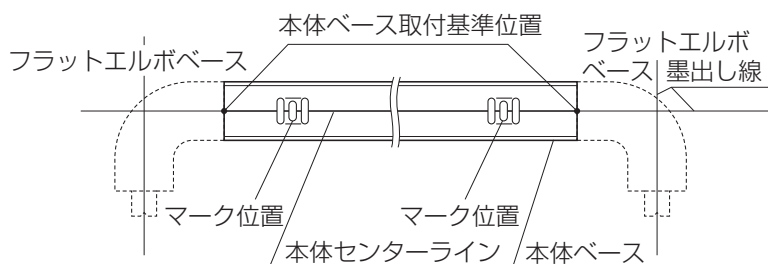


6 本体ベースの取り付け

⑥-1 キャップとベースをはずす

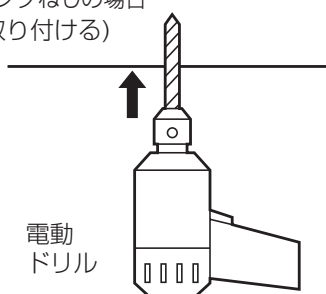


⑥-2 本体ベースの取付基準位置に合わせて、ベースの取付穴位置をマークする。



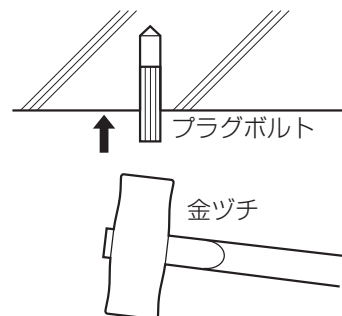
⑥-3 本体・付属品ベースの取付穴加工をする。

■木ねじやタッピングねじの場合
(下穴をもみ、取り付ける)



■プラグボルトの場合

③-2・⑥-2でマークしたところへねじをセットする
(下穴をもみ、プラグボルトを埋め込んでから取り付ける。)



⑥-4 本体ベースを取り付ける

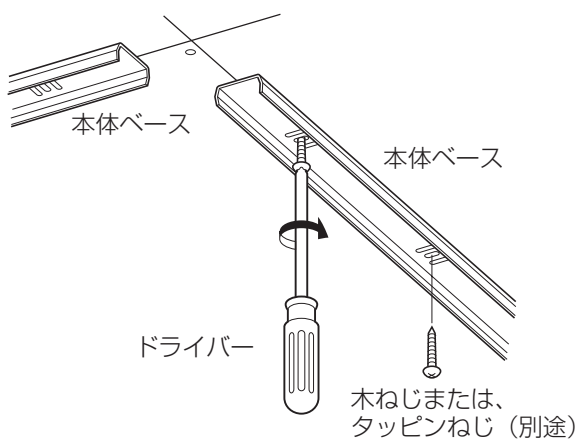
施工上のご注意

※取り付けねじは下記のものをご使用ください。

小ねじ…M4

タッピングねじ…呼び径4

木ねじ…呼び径3.8



7 付属品ベースの取り付け

■ベース取付用ねじで固定する。

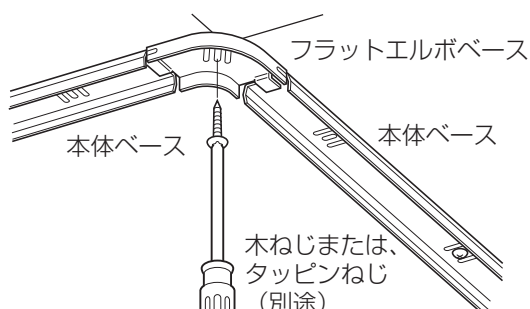
施工上のご注意

※取り付けねじは下記のものをご使用ください。

小ねじ…M4

タッピングねじ…呼び径4

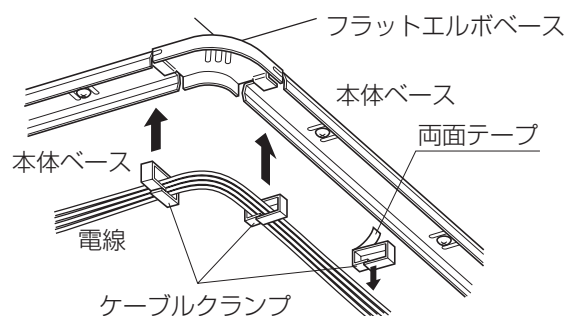
木ねじ…呼び径3.8



8 配線する

電線にケーブルクランプを取り付け、本体ベースに両面テープで固定する。

※B型の場合は、本体ベースにケーブルクランプを固定(両面テープ)してから配線することもできます。



(参考)電線収容本数

●金属線ぴ工事 (A型・B型)

メタルモールに絶縁電線を取める場合、収める電線本数は内線規程により10本以下です。

●ケーブル工事 (A型・B型)

メタルモールにケーブルを取める場合は、下表を参考にしてください。

ビニルケーブル		平形2心		平形3心	
		1.6 mm	2.0 mm	1.6 mm	2.0 mm
品種	A型メタルモール	2	2	1	1
	B型メタルモール	6	5	4	4

単位：本

●金属ダクト工事(C型)

金属ダクトに収める電線の断面積(絶縁被覆の断面積を含む)の総和は、ダクトの内部面積の20%(電光サイン装置、出退表示灯その他これらに類する装置または、制御回路などの配線のみを収める場合は、50%)以下であること。(電技の解釈第162条)

IV電線・ビニルケーブル		IV単線		IVより線		ビニルケーブル			
		1.6 mm	2.0mm	5.5mm ²	8mm ²	平形2心		平形3心	
品種	C型メタルモール					1.6mm	2.0mm	1.6mm	2.0mm
		30	24	12	8	14	12	10	10

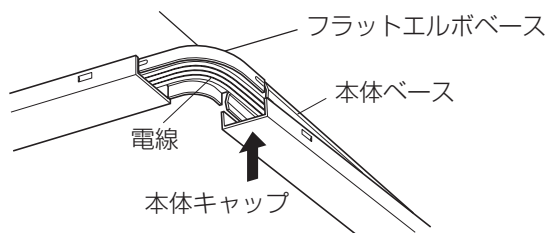
単位：本

9 本体キャップの取り付け

施工上のご注意

パチンと音がするまでキャップをベースに確実にはめ込んでください。

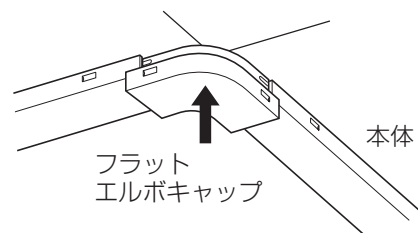
※キャップ取り付け完了後、保護フィルムをはがしてください。



10 付属品キャップの取り付け

施工上のご注意

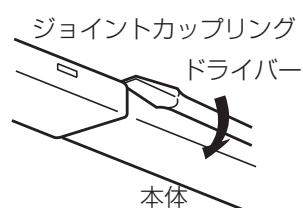
パチンと音がするまでキャップをベースに確実にはめ込んでください。



施工後取りはずす場合

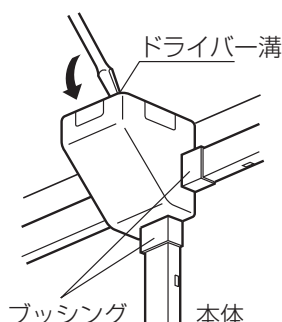
1. 付属品

付属品のすき間にドライバーを差し込み、持ち上げるようにしてははずす



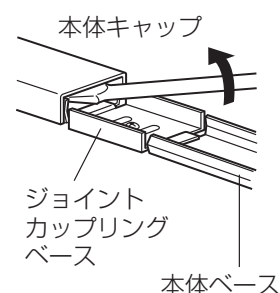
2. コーナーボックス

ドライバー溝にドライバーを差し込み、持ち上げるようにしてははずす



3. 本体

ベースとキャップのすき間にドライバーを差し込み、持ち上げるようにしてははずす



■本体・付属品の設置例



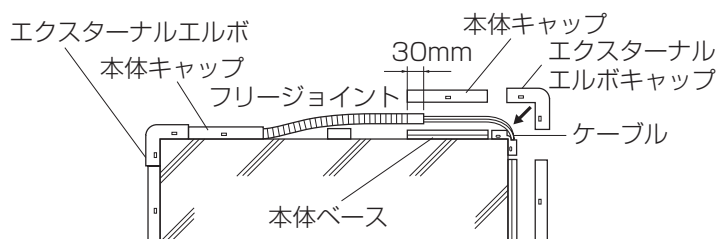
- (見切り縁のある場合)



- 見切り縁のない場合には、キャップのノックアウト部は切りはなさないでください。

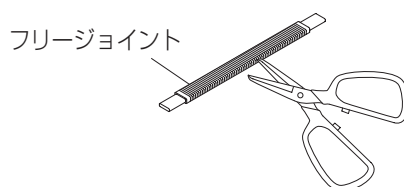
② フリージョイント(ケーブル工事専用)の取り付け方法

- 1.フリージョイントにケーブルを通す。
- 2.フリージョイントを本体ベースにセットする。
- 3.フリージョイント両側の本体キャップを取り付ける。

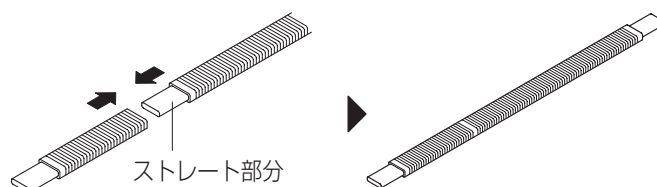


●蛇腹部を切ってつなぐこともできます

- 1.フリージョイントの蛇腹部をはさみで切る。

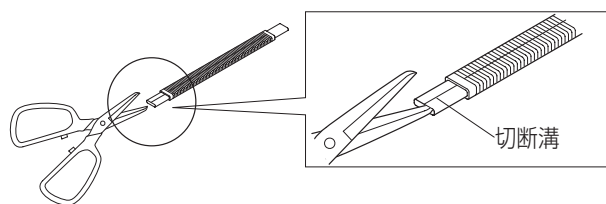


- 2.蛇腹部とストレート部分をつなぐ。

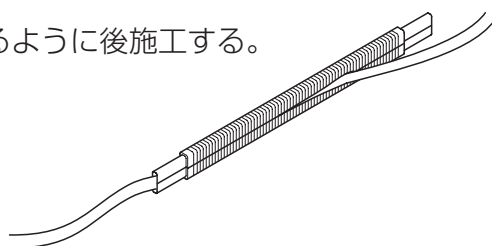


●腹割をして後施工することもできます

- 1.切断溝に沿ってはさみで腹割する。

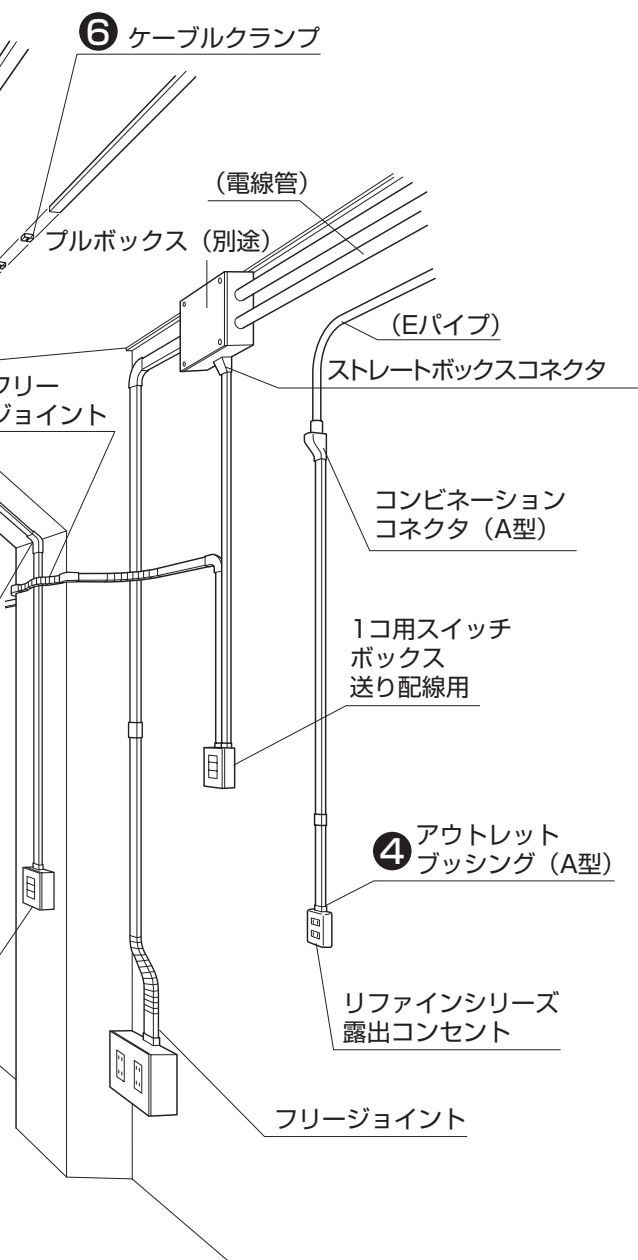


- 2.被せるように後施工する。



注 意

- ・後施工しない場合、フリージョイントはあらかじめケーブルを通線しておいてから、本体に取り付けてください。
- ・フリージョイントの接続はメタルモール本体にのみ限ります。



プルボックス (別途)

ブッシング類
(別途)

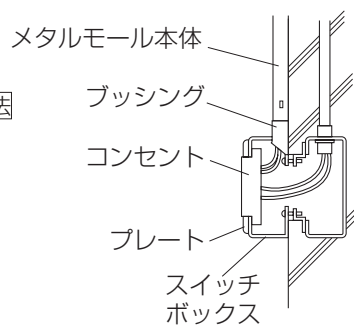
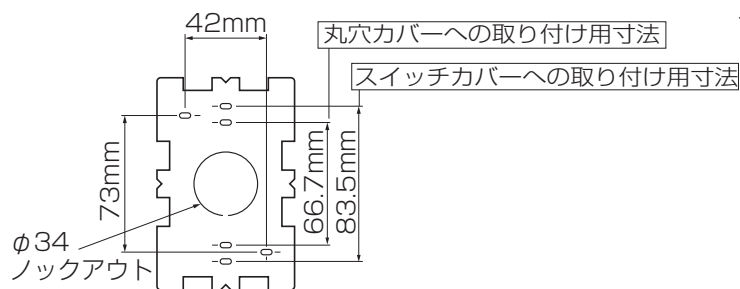
クアウト部

アップ

アップ

③ 壁コンセントがあったところから取り出す方法

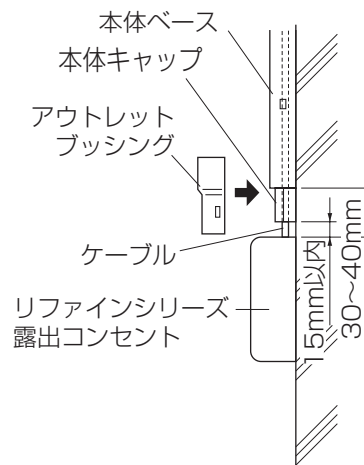
※スイッチボックスベースの底面



④ アウトレットブッシング（A型）の取り付け方法

1. 本体ベースとコンセントとの間が15mm以内になる形で結線したコンセントを取り付ける。
2. 本体キャップとコンセントの間が30～40mmになる形で本体キャップを切断し取り付け。
3. コンセントに先端を合わせてアウトレットブッシングをはめ込む。

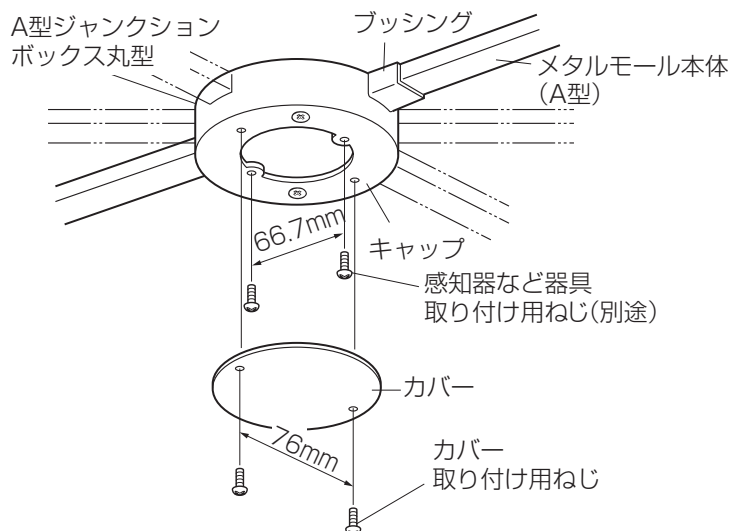
※アウトレットブッシングは細い方がコンセント側です。



⑤ ジャンクションボックス丸型（A型）

■メタルモールの分岐点での電線の接続箇所に使用します。感知器類が取り付けできます。

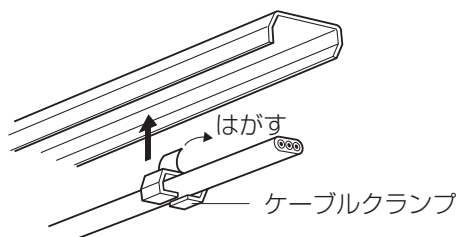
※キャップ取り付けねじ方向を除く6方向(45°きざみ)に本体を接続できます。



⑥ ケーブルクランプの取り付け方法

■メタルモール内に電線を通すとき、落下を防止し作業効率がアップします。

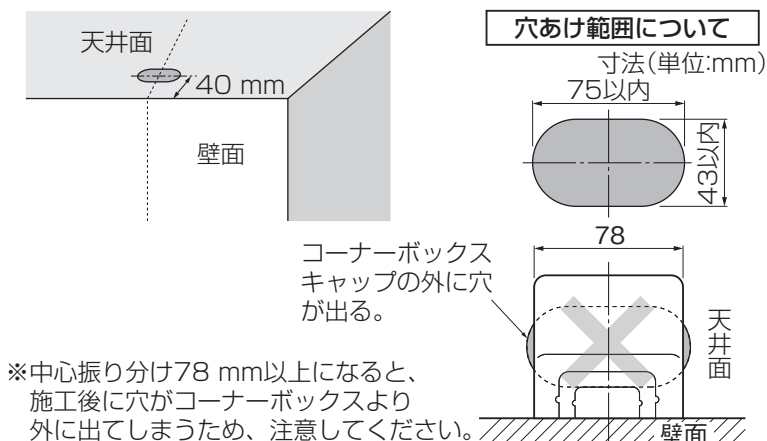
1. ケーブルクランプを本体ベースから取り出す。
2. ケーブルクランプに電線を通す。
3. ケーブルクランプ裏面の紙をはがす。
4. 本体ベース内に貼り付け固定する。



※B型の場合は本体ベースにケーブルクランプを固定(両面テープ)してから配線することもできます。

7 コーナーボックス小型に合成樹脂可とう電線管付属品を取り付けて施工する場合

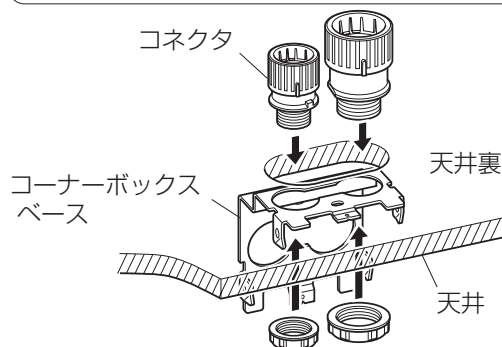
1. ホルソーなどにより、天井（壁）面に穴を開ける。



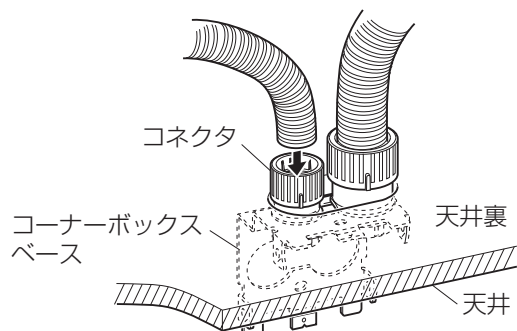
2. コーナーボックスベースにコネクタを取り付ける。

注意

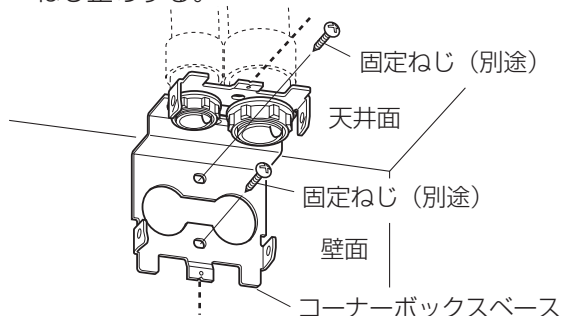
- 呼び22と呼び16、あるいは呼び16×2でご使用ください。
(呼び22×2では取り付けできません。)



3. 可とう電線管とコネクタを接続し、配管する。



4. コネクタを取り付けたベースを天井（壁）面にねじ止めする。



8 セパレータ（ケーブル工事専用）の取り付け

■本体ベースに取り付け、強電線・弱電線を分離する場合に使用します。

取り付け方法

1. セパレータを本体の長さに合わせてカッターなどで切断する。

注意

- 切断部はバリが出ないようにきれいにしてください。

2. 両面テープ（同梱）の離けい紙の片側をはがし、全長に対し等間隔になるように本体ベースのダボへ貼り付ける。

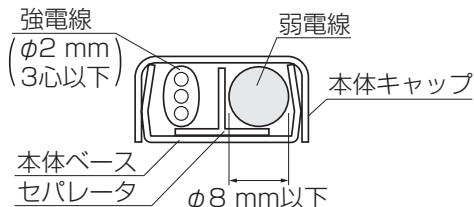
3. ダボに貼り付いた両面テープの離けい紙をはがし、セパレータを本体ベースの中央へ押しつけ固定する。

注意

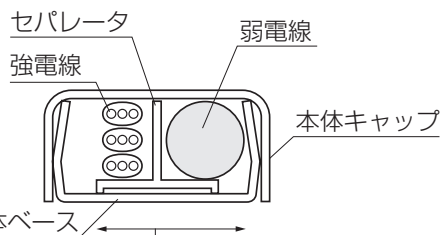
- 強電線に影響されるおそれのある弱電線は、同一メタルモール本体内に収納しないでください。
- B型への施工の際は弱電線は束ねた径がφ8 mm以下になるようにしてください。
- C型セパレータの貼付位置は調整可能です。入線本数に応じて位置を調整してください。

入線条件

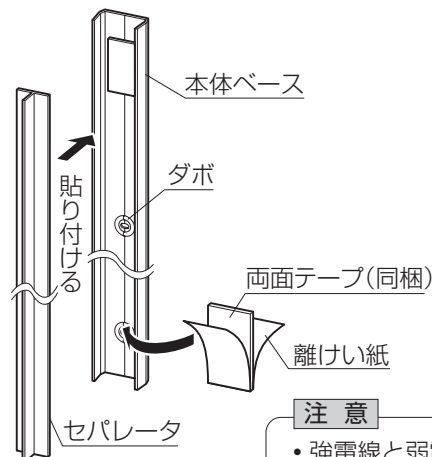
B型



C型



※セパレータの貼り付け位置は調整可能です。



注意

- 強電線と弱電線を収納する場合はC種接地工事を施してください。

⑨ セパレータ シートタイプ（1m巻き）（ケーブル工事専用）の取り付け

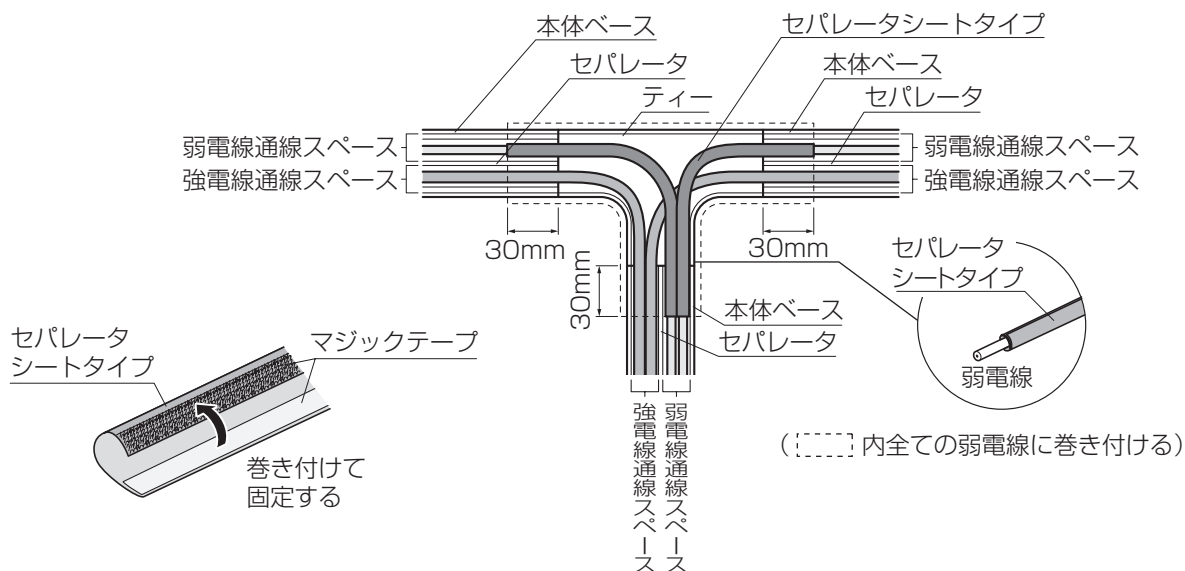
■付属品および、ボックス類内で強電線と弱電線を分離させる場合、弱電線に使用します。

取り付け方法

1. 本体ベースに固定されたセパレータに強電線・弱電線の配線工事をする。
2. 弱電線にセパレータ シートタイプを巻き付け固定する。
(弱電線を配線するティー・フラットエルボなどの付属品)
および、ボックス類内で使用。

注 意

- ・弱電線に巻き付けるセパレータ シートタイプは、付属品およびボックス類内の弱電線長さ
に片側約30mmプラスして巻き付ける。

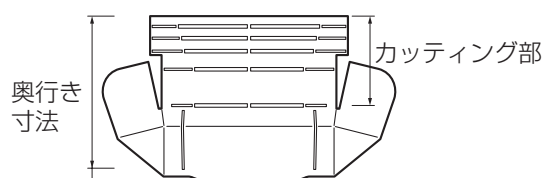


⑩ ボックス用絶縁セパレータ (品番WV2450)の取り付け

■スイッチボックス（浅型・深型）内で、強電線・弱電線を分離する場合に使用します。

取り付け方法

1. スwitchボックスの奥行き寸法に合わせて、ボックス用絶縁セパレータのカット部を切り取る。

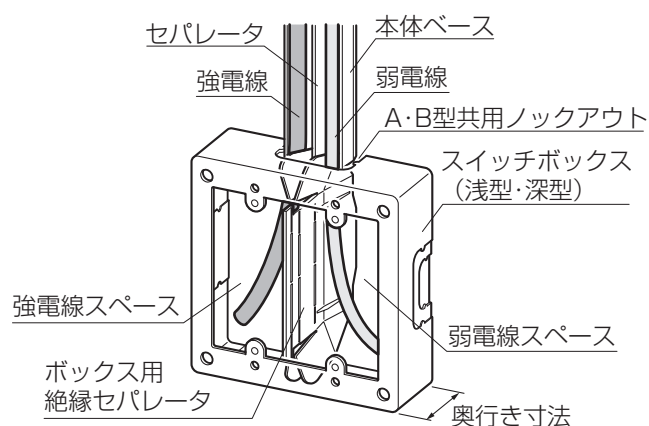


2. ボックス用絶縁セパレータをスイッチボックス内に取り付け固定し、強電線・弱電線を引き出す。

注 意

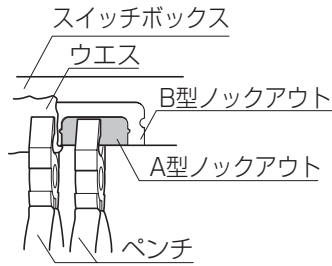
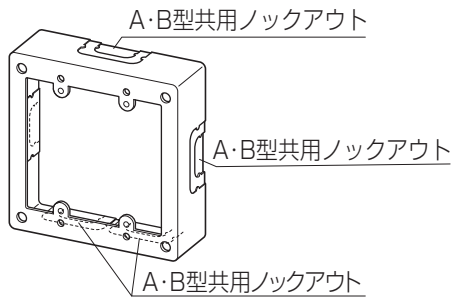
- ・カッティング部のバリをきれいに取り除いてください。

〈例〉2コ用スイッチボックス（浅型）



11 スイッチボックス2コ用～6コ用（A・B型共用）の取り付け

■一体型施工法・分離型施工法に対応できます。



注意

- A型ノックアウトを切り取る場合は、B型ノックアウトやスイッチボックスが変形・破損しないようにペンチでウエスなどはさんでください。

■品種一覧

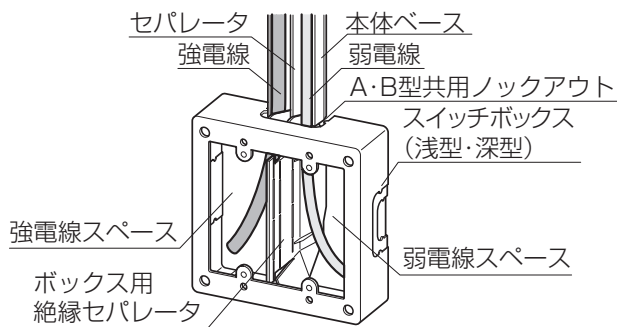
2コ用スイッチボックス(浅型)片側2コノック
3コ用スイッチボックス(浅型)片側2コノック
2コ用スイッチボックス(深型)片側2コノック
3コ用スイッチボックス(深型)片側2コノック
4コ用スイッチボックス(深型)片側2コノック
5コ用スイッチボックス(深型)片側2コノック
6コ用スイッチボックス(深型)片側2コノック

取り付け方法

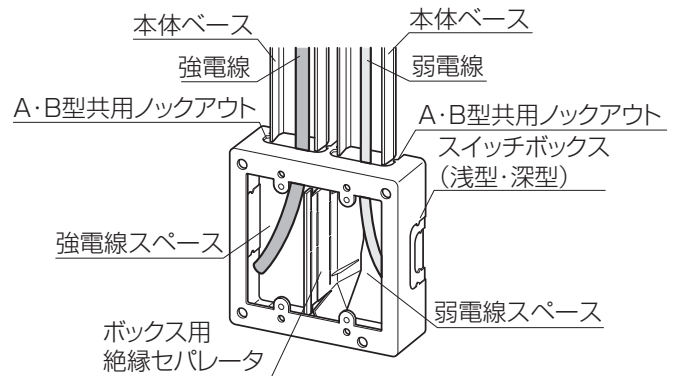
■本体ベース1本にセパレータを取り付け、強電線・弱電線を一体型施工する場合

注意

- 強電線と弱電線を収納する場合はC種接地工事を施してください。



■本体を強電線と弱電線に分けて分離型施工する場合

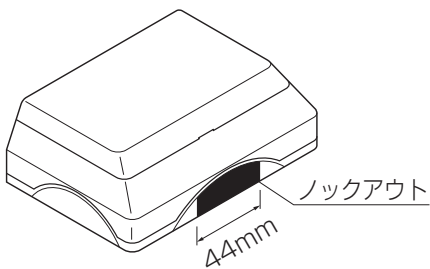


12 リファインアウトレット（アース付+通線チップ）／リファインアウトレット用接続アダプタ（B型）の取り付け

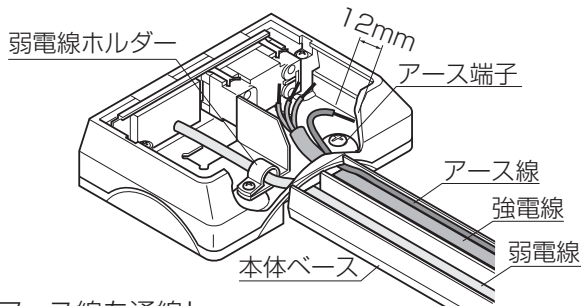
■強電線と、弱電線がリファインアウトレット1個から取り出せます。

取り付け方法

1. リファインアウトレット後部のノックアウト部をカッターなどで切断する。



3. 強電線をコンセントに接続する。

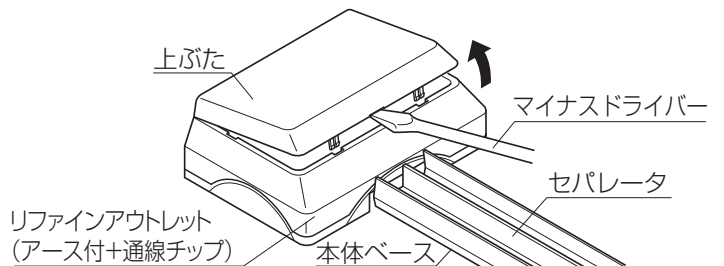


4. アース線を通線し、アース端子部にねじで固定する。

5. 弱電線をホルダーに通し、ねじで固定する。

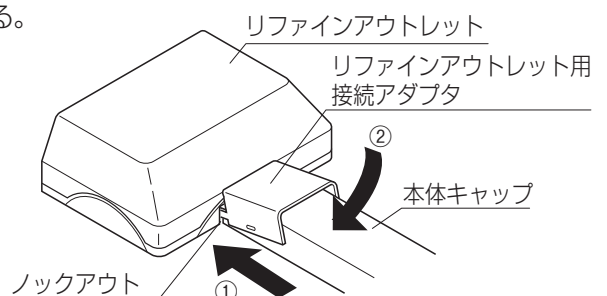
6. 上ぶたを取り付け、固定する。

2. セパレータを取り付けた本体ベースをノックアウトの切り欠き部に突き合わせ、リファインアウトレットの上部切り欠き部(後部側)に、マイナスドライバーなどを差し込み、上ぶたを取り外す。



7. 本体ベースに本体キャップを取り付け、固定する。

8. リファインアウトレット用接続アダプタの突起部を、ノックアウトの切り欠き部に①斜め上から差し込み、②本体キャップの上へかぶせて固定する。



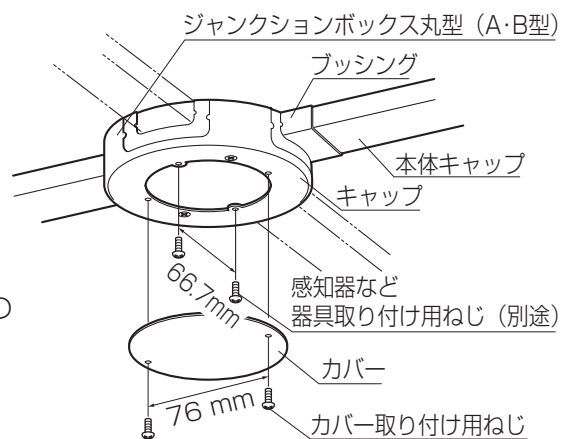
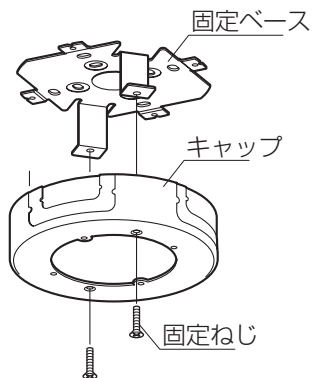
13 ジャンクションボックス丸型（A・B型共用）の取り付け

■天井に感知器などの器具が取り付けできます。

■メタルモールの分岐にも使用できます。

取り付け方法

1. 天井にベースを取り付ける。
2. ベースに本体（A・B型）ベースを突き合わせ、固定する。
3. 本体ベースに強電線・弱電線を配線し、本体キャップを取り付け、ベースとの接続部にブッシングを固定する。
4. 本体（A・B型）に合わせて、キャップのA・B型共用ノックアウトを切り欠く。
5. キャップを固定ねじで取り付ける。



注意

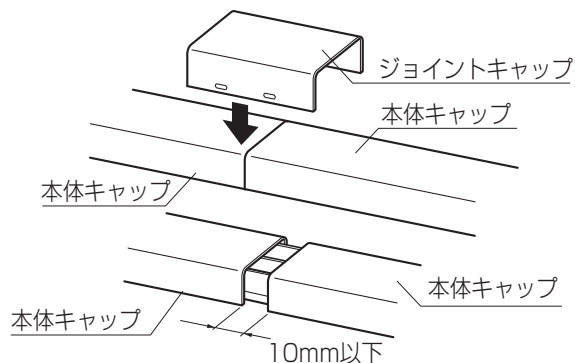
- 器具を取り付ける場合は、感知器など器具 取り付け用ねじを使用する。
- 器具を取り付けない場合は、カバー取り付け 用ねじで、カバーを固定する。

14 ジョイントキャップの取り付け

■本体相互の接続部の保護と、化粧に使用します。

取り付け方法

1. 本体相互を突き合わせる。
2. 本体キャップの上からジョイントキャップをはめ込む。



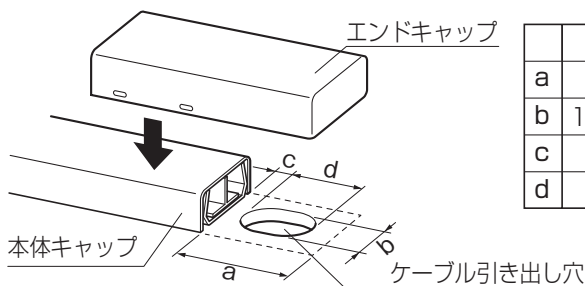
※本体相互のすき間が10mm以内なら、ジョイントキャップが接続可能です。

15 エンドキャップ（ケーブル工事専用）の取り付け

■本体端末部へのケーブル引き込み、および端末の保護と、化粧に使用します。

取り付け方法

- 本体キャップの上からエンドキャップをはめ込む。



	A型	B型	C型
a	50mm以下		60mm以下
b	15mm以下	30mm以下	45mm以下
c	5mm		
d	35mm以下		45mm以下

注意

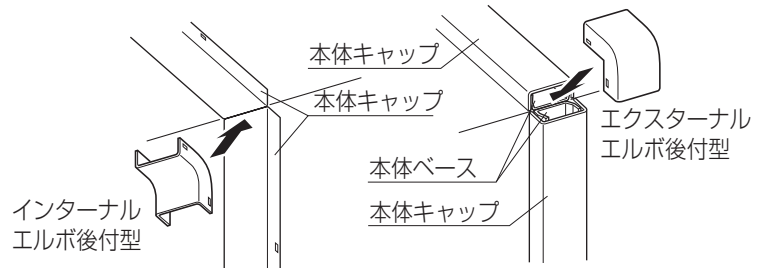
- ケーブルを引き込む場合、ケーブルの曲げ半径は、外径の6倍以上確保してください。
- ケーブル引出穴はケーブルを傷つけないよう処理をしてください。

16 インターナルエルボ後付け型・ 17 エクスターナルエルボ後付け型

■本体を垂直から水平および、水平から垂直へ90°曲げる接続部の保護と化粧をする場合に使用します。

取り付け方法

1. 本体相互を突き合わせる。
※インターナルエルボ後付け型を設置する場合は、本体キャップ同士、エクスターナルエルボ後付け型を設置する場合は、本体ベース同士をきっちりと突き合わせてください。
2. 本体キャップ設置後、上からインターナル・エクスターナルの各エルボをはめ込み固定する。

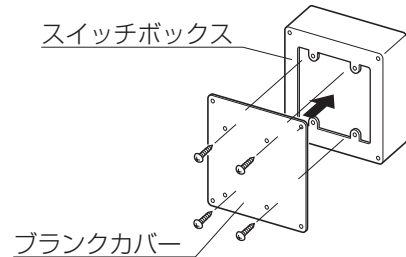


注意

- 電線が外部に露出しないようにしてください。

18 ブランクカバー

■2コ用スイッチボックスに、ブランクカバーを取り付けるとジャンクションボックスとして使用できます。



19 フラットエルボ 後付け型 (ケーブル工事専用) 20 ティー 後付け型 (ケーブル工事専用)

■本体を水平に90°曲げる接続部あるいはT字に分岐させる接続部の保護と化粧をする際に使用します。

取り付け方法

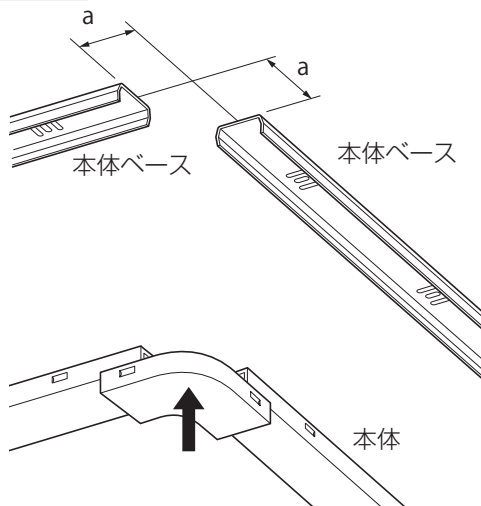
1. 本体のベースを施工する。
2. 本体キャップ設置後、上からフラットエルボ・ティの各キャップをはめ込み固定する。

注意

- 電線が外部に露出しないようにしてください。
- ベースがありませんのでケーブル保護のために造営材に突起がない所に施工してください。

フラットエルボ 後付け型

	a
A型	30~35mm
B型	45~50mm
C型	60~65mm



ティ 後付け型

	a
A型	30~35mm
B型	45~50mm
C型	60~65mm

